

## 第12回 通常総会議事録

公益社団法人日本眼鏡技術者協会

1. 日 時 2022年6月23日(木) 午後2時から4時10分
2. 場 所 AP東京八重洲 Lルーム 11階  
東京都中央区京橋1-10-7
3. 社員(代議員)数 110名(5月31日現在)
4. 出席者数 出席108名(内委任状による出席72名) 欠席2名  
委任状提出以外の参加者内訳  
代議員以外の理事 14名
5. 議 長 山崎親一
6. 議事録署名人 乾隆司、吉野紀子
7. 議 事 経 過

- (1) 司会の金井章代議員は、この1年間に亡くなられた会員の方々のご冥福へ黙祷を捧げた。次に、本日の総会の定足数について、定款第18条の規程により、出席予定者数36名中36名出席、委任状72名で合計108名となり、本総会が適法に成立することを宣言し、開会した。
- (2) 議事に先立ち、木方会長が開会のあいさつを述べた。  
「昨年、一昨年とコロナで直接お会いすることができなかったが、今日ハリアルな総会を開くことができた。  
また、大変お忙しい中、厚生労働省の宇野様、また来賓であり理事の国家資格推進機構岡本代表幹事、加藤顧問、津田顧問にもお越しいただいている。本当にありがとうございます。コロナで色々やっているうちに、国家検定に関わることは、目まぐるしく大きな変化を成し遂げることができた。厚生労働省をはじめ、眼科医会、そして会員の皆さまには実際にお会いして話や討議をする機会は少なかったが、なんとかここまできることができた。4月20日には学科試験を終えることができ、今は実技試験に向けている。初めてで慣れないことであり、大変だと思うが皆様のご理解とご協力によって成り立っている。実技試験と特例講習会の時期が重なっており、今が作業としてはヤマ場にきているが、国家検定なので公平公正に実施することを考えながら進めている。今日は総会の後に特例講習会の説明を予定している。  
こんな時に例を挙げるのはどうかと思うが、ロシアのプーチン大統領の動きをみていると、誰も反対意見を言えないようで、そういう世の中になることが一番危険だ。ですから、できるだけ説明をさせていただき、また皆さんの色々な立場からご意見をお伺いしたい。生活者の方からは、より良いメガネを作ってほしいという要望があるので、どういう風にやっていったらいいか同じ方向に向かって邁進していきたい。今日は総会で決算が中心だが、今後についても色々なご意見をお聞かせいただきたい」
- (3) 司会の金井章代議員は、議長の選出について諮ったところ司会者一任の声があり、山崎親一代議員を指名し、賛成を求めたところ、全員の拍手をもって決定した。
- (4) 山崎親一代議員は、あいさつの後、議事録署名人の選任は本職の指名をもって決定したいと諮ったところ、異議なしの声があり、乾隆司代議員(大阪府支部)、吉野紀子代議員(京都府支部)を指名、承諾を得た。

山崎親一議長は、第1号議案および第2号議案双方関連があるため、一括して審議したいと諮り、異議なしの声で審議に入った。

### 【審議事項】

#### 第1号議案 2021年度事業報告承認の件

福田吉美総務部長は、総会資料3頁から6頁に記載している第1号議案の2021年度事業報告、会議の開催状況、各部の事業活動及び会員数等を読み上げて詳細に説明した。

#### 第2号議案 2021年度収支決算承認の件

平岩幸一財務部長は、総会資料7頁から16頁に記載している第2号議案の2021年度収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表等について詳細に説明した。

山崎親一議長は、ここで監査報告を要請した。

監事を代表して岡野雄次氏が4月22日に行った監査の結果について、いずれも正確かつ適正に執行されていると報告した。

山崎親一議長は、第1号議案、第2号議案について質疑を求めたが特に異議はなく、一括して承認を求め、全員の拍手で承認された。

続いて山崎親一議長は、第3号議案及び第4号議案双方関連があるため、一括して議題にしたいと諮り、異議なしの声で審議に入った。

#### 第3号議案 2022年度事業計画承認の件

福田吉美総務部長は、総会資料18頁から21頁に記載している2022年度事業計画について読み上げ、詳細に説明した。

#### 第4号議案 2022年度収支予算承認の件

平岩幸一財務部長は、総会資料22頁から27頁に記載している2022年度収支予算について詳細に説明した。

(質問) 特例講習会は5年間だとすれば2027年まで実行されると記載をすれば良いと思う。

試験内容は今後も同じなのか

(回答) 特例講習会は2027年度まで行うが、それ以降はできない。また希望者がいなければ2026年で終了する可能性もある。試験科目は3科目で今後も同じ内容で行う。

(質問) 学校卒業、国家検定合格者からの入会者の見込みはいかがか

(回答) 賛同される方は入会してほしい。はっきりした数は分からない。

(提案) 合格者に合格証を発行するときに入会案内を同封すればよいのではないか

(回答) 今後、検討したい。

(質問) 各支部でのメガネの日、目の愛護デーのアピールについて

(回答) 詳しくは報告事項で広報部より報告あり。

(質問) 技術者協会の今後の在り方について

(回答) 技術者協会は今後も国家検定機関として存続していく。ただ試験機関であるため講習会は、新しい団体をお願いすることになる。

(確認) 22ページ収支予算案、支部管理費1,000万円は詳細のどこに記載されているのか

(回答) 27ページ収支予算書詳細(15)に記載している。

(確認) 国家検定、システム開発予算 800 万円はこれ以上増えることはあるのか

(回答) システム開発で今後も増える可能性はある。

山崎親一議長は他に質問、意見がないことを確認し、第 3 号議案、第 4 号議案は全員の拍手で承認された。

### 第 5 号議案 理事・監事選任の件

山崎親一議長は、選挙管理委員会により、予め書面による投票が行われ 6 月 16 日に開票を行ったと報告し、選挙管理委員会による投票結果について報告を要請した。

選挙管理委員会を代表し、坪内登選挙管理委員から、次の通り報告があった。

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| ① 社員総数 (2022 年 5 月 31 日現在) | 110 名 |
| ② 投票総数                     | 103 名 |
| ③ 有効投票数                    | 103 名 |
| ④ 無効投票数                    | 0 名   |

理事候補者 2 名、監事候補者 2 名について、候補者ごとに賛成・反対・白票を集計した結果、配付資料に記載の通りであり、全候補者について過半数の賛成票を獲得して選任されたことを報告。(別紙参照)

山崎親一議長は、選挙管理委員会の報告に対して質疑を求めたが、特に質問。意見が無く、第 5 号議案は承認された。

### 【報告事項】

#### (1) 国家検定事業報告

木方会長は 2022 年度の国家検定経過報告を配付資料に基づいて説明した。

学科試験の結果をおよび、実技試験は各地で実技検定員研修会を実施中。また、実技「視力の測定」の被検者の募集を開始と説明した。

山崎親一議長は、国家検定事業について質疑を求めたが特になかった。

#### (2) 広報部報告

杉本佳菜子広報部長は、まず今年度の支部 PR 活動について配付資料に基づいて説明した。鯖江メガネフェス (10 月 1, 2 日) や I O F T 2 0 2 2 (10 月 18~20 日) への出展予定、各支部向けの 3 パターンの広告見本を配付し、新聞広告などは認定眼鏡士の名称を使わず「メガネの日」や「目の愛護デー」の内容で実施をお願いしたい。また、支部の負担軽減とある程度統一した文言、デザインで展開したいと考え、広告見本として、広報部で 3 パターン、男女別、カラー (モノクロ対応) で作成した。支部で予定しているサイズに合わせて新聞社等の広告担当に作成してもらうか、または広報部まで申し込んでほしい。見本の広告にある写真やイラストおよび広報部での製作費は無料と説明した。

山崎親一議長は、広報部報告について質疑を求めたところ特になかった。

続いて山崎親一議長が、3 期以上務めた退任理事・事務員に感謝状を贈呈すると説明し、辻戦三氏 (岡山県支部)、佐藤良治氏 (北海道支部)、西田芳夫氏 (福井県支部)、清水

信弘氏（佐賀県支部）、西村輝和氏（日本眼鏡技術専門学校理事）、角千津子氏（大阪事務局）の名前を読み上げた。

なお、木方会長より本日の出席者西田芳夫氏に感謝状と副賞を贈呈した。欠席者には、後日郵送する。

ここで山崎親一議長は、加藤真代顧問、津田節哉顧問に来賓あいさつを願った。

加藤真代顧問は、「価値ある情報を提供できる団体になることが求められる。脱皮してさらに上を目指してほしい」とあいさつした。

津田節哉顧問は、「協会は歴史ある教育団体であり、維持していただきたい。自らを高めていくことを継続してほしい。あくまで生涯教育を続ける教育団体として存続してほしい」と述べた

最後に金井昭雄副会長が閉会のあいさつを述べた。

金井昭雄副会長は「非常に重要な時期に差しかかった。国民の目の健康のために眼科医との協力は重要。これからの協会の役割について知恵を出し合い、よりよい方向に進むことを期待する」と、総会を締めくくった。

山崎親一議長は議長席を退席、司会の金井章氏は第12回通常総会の閉会を宣言した。

上記の通り、公益社団法人日本眼鏡技術者協会第12回通常総会の経過を記載した内容は事実と相違ないことを証します。

2022年6月23日

公益社団法人日本眼鏡技術者協会

会 長 木 方 伸 一 郎

第12回通常総会

議 長 山 崎 親 一

議事録署名人 乾 隆 司

議事録署名人 吉 野 紀 子